

相手に響く!

プレゼン& コミュニケーション術

スピーチはプレゼンに通ず

企画提案や、得意先への新商品売り込みなどで、思うようなプレゼンができなかった。自分のプレゼン能力の不足に気づいたら、職場や仲間たちでサークルをつくって一緒にスキルアップを目指すのはどうでしょう。あるいは手取り早く「トーストマスターズ・クラブ」のようなスピーチクラブに入会するのもいいでしょう。

実は私は「トーストマスターズ・クラブ」の会員です。会員歴3年の新米。「スピーチ入門」というアメリカ人が書いた本

にクラブのことが紹介されていて、もしや日本にもあるのではと検索してみたら、ズラズラと出てきて驚きました。スピーチ能力を身に付けるための非営利国際教育団体で、カリフォルニアに本部があり、世界100カ国に25万人の会員がいます。お断りするまでもなく、宗教や政治とは無関係です。

日本には90ほどのクラブがあって、会員数は2,000人を超えています。英語でスピーチするクラブ、日英両方のクラブ、日本語だけ使うクラブがあって、私が所属する新橋トーストマスターズ・クラブは日

本語のクラブです。

スピーチの練習をしても、プレゼンの役には立たないんじゃないの? そう思われるかもしれませんが、大いに役立ちます。スピーチもプレゼンも、その土台となる「コミュニケーション力」は共通です。プレゼンもスピーチの一分野、つまりビジネス・スピーチだと私は考えています。

**褒めて褒めて褒めて、ひとつ改善、
そして最後にまた褒める**

私の所属するクラブは隔週で火曜日の夜に集まります。新橋という場所柄、仕事帰りのビジネス・パーソンたちが大半です。例会の柱になる「スピーチ」と「論評」について紹介しましょう。

①準備スピーチ(あらかじめ準備しておいたスピーチを、会場の前に出て行います。持ち時間は5分〜7分)

日本語に翻訳されたテキストにもとづいて、課題に沿ってスピーチを行います。たとえば2回目のスピーチなら課題は「スピーチの構成」。6回目なら「ボーカルバラエティー(声の変化)」というように、課題がしだいに高度になってスキルアップできるようプログラムされています。スピー

第7回

仲間とプレゼン能力 を磨く方法



©新潮社

広告プランナー・
作家
はやし ひこ
林 寧彦

大手広告会社で数百回のプレゼンを経験後独立。現在はフリーの広告プランナー、作家。陶芸家(日本工芸会正会員)としても活躍中。著書に「歴史を動かしたプレゼン」新潮新書など。
(<http://www.hayashi-yasuhiko.com/>)



アバハスほザンドイツ方式で
相手をその気にさせる。
これぞプレゼンの極意!!

カーの中には、スピーチではなく仕事で行うプレゼンをリハーサルする人もいます。

②論評（行われた準備スピーチを別の会員が評価します。持ち時間は2分半〜3分半）

このクラブの最大の特長は、論評があることです。オーソドックスな論評では、まずスピーカーの良かった点が3つ挙げられます。たとえば次のようなコメントです。「序論、本論、結論がしっかり構成されて

いて説得力があった。聴衆とのアイコンタクトがキチンとできていた。伝えたい核心のところでは、むしろ声を落として巧みに話に引き込んでいった」。次に改善が求められる点をひとつだけ指摘します。たとえば、「各国のスポーツ人口の割合を口頭で話しましたが、グラフ化してもらえば一目瞭然だったと思います」。最後にもう一度良かった点を褒めてスピーカーを励まします。「それにしても初めてのスピーチなのに声がよく出ていて素晴らしかった。次回が楽しみです」。スピーカーを褒めるコメントで、改善すべき点をサンドイッチする、いわゆる「サンドイッチ方式」の論評。これなら耳の痛い指摘も素直に聞くことができます。

アメリカ生まれのこのクラブの第一の魅力は何かと聞かれたら、こう答えます。「そこには褒める文化があふれていること」。アメリカではどんな地方の町に行っても、このクラブがあるそうです。言葉で自分を表現することは、社会で生きていくために身に付けるべき必須の能力。その能力を身に付けさせるには、「臆面もなく褒める」ことが効果的であることをアメリカ人は知っています。

オバマ大統領の演説や、アカデミー賞の発表をテレビで観ながら、アメリカの政治家やスターたちのスピーチのうまさには舌を巻きます。彼らの自信に満ちたスピーチの背景には、褒めてもらった体験の積み重ねがあります。私たちのクラブもアメリカ方式そのままに、スピーカーを臆面もなく褒めます。初めてのスピーチで緊張していた人が、4、5回目になると堂々としたスピーカーに変身します。そんなシーンを目撃できるのは、先輩として本当にうれしいことです。

「褒めて褒めて褒めて、ひとつ改善点、そして最後にまた褒める」。プレゼン能力を高めるサークルを自分たちでつくるなら、トーストマスターズ・クラブのこんなやり方を真似してみてはいかがでしょう。

「仲間とプレゼン能力を磨く方法」。ポイントをまとめると、次の3つになります。

- ①スピーチ能力が上がれば、プレゼン能力も上がる。
- ②職場や仲間たちでサークルをつくったり、スピーチクラブに入るのも手。
- ③練習の場では「褒めて褒めて褒めて、ひとつ改善点、そして最後にまた褒める」。